

2017年3月31日発行

③ 一番残念な予算だ!

本日24日(金)、3月議会が終わりました。予算の議会ですから、一番長い議会です。最終日の前日、29年度の一般会計予算の結論を出しました。その反対討論の中で、「今まで見てきた13の一般会計当初予算案の中で、一番残念な予算だ!」僕はそう言ったのです。市長が代わり、須田前市長の「大型事業、同時並行でいけいけドンドン」方針が、変わればいい...そう願っていたのですが、その願いは見事に裏切られました。

③ どこが重点事業だ!?

並木新市長は13の重点事業を打ち出しました。その総額91億2000万円。

- 1.新座未来プロジェクト・20万円(え?)...0.002%
- 2.仕事見直しプロジェクト・10万円(えっ?)0.001%
- 3.地下鉄12号線延伸・5億(来ないのに!)5.48%
- 4.新庁舎建設...23億6000万(がーん)25.88%
- 5.北口区画整理事業...9億...(うわっ!)9.91%
- 6.大和田二・三丁目区画整理...47億 51.72%
- 7.志木駅南口整備事業...3億5000万...3.86%
- 8.東久留米・志木線整備...4000万...0.44%
- 9.石神4丁目保育園助成...1億8000万...1.96%
- 10.ココフレンドの実施...5600万...0.61%
- 11.子育て包括支援...680万...0.07%
- 12.ユニバーサル農業...210万...0.02%
- 13.ふるさと納税の促進...240万...0.03%

これがその13重点事業です。

新市長の目玉は1と2の筈なのですが、その予算は合わせて0.003%にしかありません。反対に、3~8の大型事業には全体の97.3%もの予算を注ぎ込もうとしているのですから、反対して当たり前です。

「待機児童ゼロを目指します」と公約を掲げた市長、そして去年の2月に同じように「待機児童ゼロを目指す」と言って当選した議員の多くが、この予算に賛成したのですから、困ったものです。全体で約500億の一般会計予算ですが、教育予算は僅かに8.1%で、近隣市では予算・学力ともに最低でした。



3月の川掃除で、久しぶりに川の中に入りました。大きなナマズやカメに会えて楽しかったです。4月の川掃除は16日(日)の予定です。



たかやんのプロフィール



昭和29年年2月11日、港区青山生まれ。新宿区立西戸山中学校、都立石神井高校卒。北海道大3年の時に、突然教師を目指しはじめ、五中の教師になる。小学校時代のあだ名は「たか」超悪ガキで、成績も悪かったが、

小さい頃から弱いもの苛めだけはしたことがない。

今のあだ名は「たかやん」(そう呼んでくださいね)

写真は久しぶりに馬喰橋から、川の中に入るところ。

市議会では木村俊彦と「市民と語る会」を結成。他の会派とはひと味違った角度から市政を見ている。

駅立ちの師匠は「吉田よしのり」。師匠には遠く及ばないが、駅立ちを始めてから12年目に入る。

趣味はテニス。黒目川の掃除。小中学生と一緒に「たかやん塾」で学ぶことに燃えている。

最近「アドラーの心理学」にはまり、五中・六中・二中時代の自分を反省している。

「弱いもの苛め」「虎の威を借る狐」が嫌いである。長いものには巻かれないタイプ。現在の安倍政権にはとても危険なものを感じている。



たかやんの応援団 で 検索



③ 町内会への補助金問題 その1

NO	町内会名	平成27年				平成29年	
		広報の 配布数	町内会が市に 届けた 加入世帯数 (H27.1.1)	総世帯数 (市発表) H26.12.1	総会の決算資料 の中に世帯数が あるものに○	町内会が市に 届けた 加入世帯数 (H29.1.1)	総世帯数 (市発表) H28.12.1
①	畑中	2145	1800	3930	なし	1704	4027
②	馬場三丁目	388	323	509	○323	344	519
③	片山	2271	2200	2839	なし	2016	3024
④	栗原2丁目	365	210	382	○205	227	410
⑤	栗原3丁目	820	700	919	○456	446	972
⑥	栗原5丁目	1584	1300	1517	なし	1221	1534
⑦	栗原6丁目	1435	1000	1498	なし	775	1539
⑧	新堀3丁目	1457	1027	1443	○1027	1021	1440
⑨	西堀	2093	1763	2234	○1700	1650	2306
⑩	大和田1.2丁目	1143	1143	1619	○966	959	1634

上の表は27年6月19日の議会で須田前市長が答弁した「広報を全戸配布している町内会」の一部です。僕が最初に議会で注目したのは広報の配布数と町内会の加入世帯数の大きな差でした。

しかし、市長は「61町内会のうち、31町内会が全戸配布している」と答弁したのです。そこで、僕は市に提出された全ての町内会の予算と決算の資料を情報公開で取り寄せました。すると、61町内会の内世帯数が明記されている町内会が僅かに30しかなかったのです。(市も確認してこの議会で資料が提出されました。)町内会費は町内会によって違いますが普通の感覚から言って、決算書に世帯数が明記されていないことなど、考えられません。会員数の多い町内会では数百万円の決算になります。

この表でも⑦の町内会は23年度から5年連続で1000世帯と市に届けていたので、「誰がどう考えたって、5年間も世帯数が変わらないなんて、そんな馬鹿な話はないでしょう!」と議会で追及すると、翌年は819、今年は775世帯に激減したのです。

1000という世帯数は何だったのか。1539という世帯数で全戸配布をしたら1435世帯という意味も分かりません。どうしても、あの森友学園を思い出してしまいます。

③ 一人でも・・・

新座の市議会議員で、町内会に入っていないのは僕一人かも知れません。僕はPTAにも入っていませんが、子どもが学校に通っているのに「PTAに入らない」そういう人も少ないと思います。

でも、たとえ一人であっても自分の人生は自分が決断する。それもまた「アドラー」の教えです。

須田市長は「新座市は町内会の加入率が7割を超えている。こんな市は近隣ではない」とよく発言していました。どうやら、町内会が申請した世帯数をそのまま信じた結果の加入率だったようです。

この3月議会では加入率が63.4%であることが分かっています。(僕はそれよりも更に低いのではないかと考えていますが・・・)

僕は町内会活動を否定する積もりはありませんが、ある時期までは「町内会に入らないと広報が読めないよ」と言って勧誘し、議会では「全戸配布していた」と言われても納得できません。

市が発表した総世帯数と比べるとその不思議さがよく分かります。①～⑩に住んでいる方には、昨年5月以前、本当に広報が全戸配布されていたのでしょうか。僕は事実を知りたいのです。是非、情報をください。